2 年次、中間発表会＆ふりかえり＋フィールドワーク

▼１０月２７日（火）６～７校時　課題研究／地域理解発展研究　中間発表会

▽今年度は一般コースと探究コースあわせて 82 の発表となりました。昨年度の 52 から大幅に増えたのは、個人研究や少人数での研究が増えたためです。1 学期に個人研究の形にせざるを得なかったことが影響していると考えられます。

▽パーティションホワイトボード（Vol.09 参照）や壁をフル活用して、中間発表会が行われました。

▽１回のプレゼンは１０分です
（発表６分、質疑応答２分、フィードバック記入２分）。これを休憩や換気をはさみながら合計６回行います。

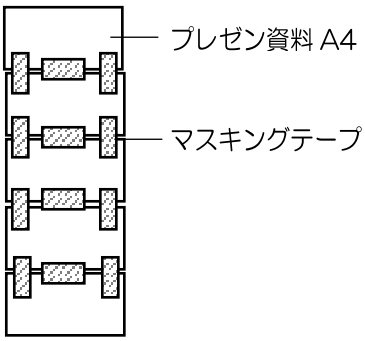
▽１グループあたり、２度発表のチャンスがあります。２度目のときには１度目の反省やアドバイスを活かして説明を工夫するところもあり、会の中での成長も見られました。

※あるグループの行動例

１回目、４回目	発表する
２回目、５回目	他グループの発表を聴く
３回目、６回目	他グループの発表を聴く

▽また今回は、簡易ポスター形式で作成しました。プレゼンテーションソフトで作成したスライド 10 枚をプリントアウトし、右図のようにつなげたものです。昨年度は模造紙に貼りつけてポスターにしていましたが、生徒たちが自分で保管できなかったり、気軽に見返したりできなくなる課題がありました。それを受けて変更したものです。

※簡易ポスター（裏側）



模造紙に直接印刷することもできますが、修正のたびに印刷し直しになるため、スライドごとに印刷して発表に使うようにしています。

▽今回はあくまでも「中間」発表会です。今回のフィードバックを受けて、12/16（水）の成果発表会本番に向けて色々な修正がなされればよい、と考えています。

▼１１月４日（水）５～７校時　地域理解発展研究「フィールドワークⅢ・問題解決策再考」

▽**探究コース**は、外部の方に中間発表会の内容をプレゼンしてフィードバックを頂く活動に取り組みました。

▽１０月中は、中間発表会の準備やリハーサルと並行して、話をしに行くところを決めたりアポイントメントを取ったりする必要もあり、大変忙しくなりました。しかし、その中でも自分たちの研究を少しでも良くしようと前向きに試行錯誤する姿が見られました。

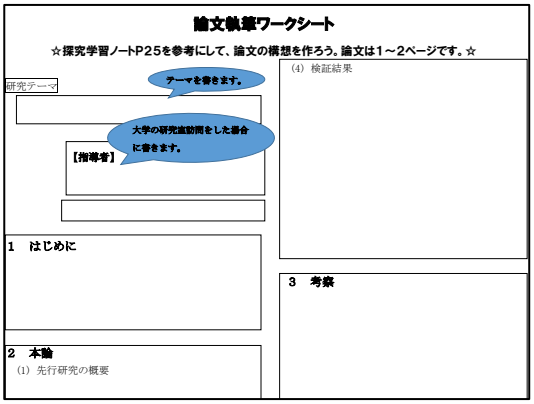
頂いたアドバイスを受けて、早速スライドを手直ししています。このグループは、この日だけでなく後日別の場所にも伺うため、放課後すぐに PC 室で自主的に修正作業をしていました。

▼１１月４日（水）７校時　課題研究「発表内容修正・論文執筆」

▽**一般コース**は、まず全体で今後の説明がありました。12/16（水）の成果発表会までの残り時間や、それまでにプレゼンの修正と論文執筆とを進めることが確認されました。

▽次に、教室に分かれてワークを行いました。中間発表会のフィードバックシートを読んだり、当日の振り返りをグループ内で発表したりして成果と課題を確認します。

▽その後、発表内容（プレゼン）修正と論文執筆とに分かれて作業に取り組みます。


論文執筆ワークシート

☆探究学習ノートP25を参考にして、論文の構想を作ろう。論文は1～2ページです。☆

研究テーマ

テーマを書きます。

大学の研究室訪問をした場合に書きます。

【指導者】

(4) 検証結果

1　はじめに

3　考察

2　本論

(1) 先行研究の概要

論文は、「論文執筆ワークシート」の形式に沿ってまとめていきます。紙面に残す作業をすることで、発表とは違う部分の表現力が養われます。

▼振り返りシートから（抜粋）

▶タブレットなどを使って実際に見せていた班があった。自分たちも実際に見せたりするもので聞き手に興味を持たせ、かつ納得してもらえるような発表にしたい。▶分担を決めて作業したことでスムーズに準備することができ練習を多めに取ることができた。▶原稿を読むだけでなく、継続的に聞き手のレスポンスを受けながら話して興味を引くような発表の仕方があって、良いと思った。▶伝えたいことをしっかりと伝えられるように、言うことをもっと整理し、何度も練習を重ねて本番に臨みたい。

▼今回は２年次の活動を大きく取り上げました。他にも次の活動を実施しました。

▽１０月２９日（木）、１１月６日（金）１年次地域理解プログラム「アイデア収集・アイデア深化」

▽１０月２０日（火）、２７日（火）３年次・発表実践「仮想・記念講演」

▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲